

大学・高専機能強化支援事業
(高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援)【支援2大学】
事業概要

令和5年7月時点

選定年度	令和5年度	学校コード	F113110102782
大学名	電気通信大学	設置区分	国立
学校種	大学	都道府県	東京都
申請形態	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（一般枠）		

1.事業概要

幅広い知識と高い専門性に基づく実践力と世界で活躍するための国際性を兼ね備え、イノベーションを創出する人材を養成するため、令和4年度から段階的に、情報理工学域Ⅰ類及び情報理工学研究科博士前期課程情報学専攻の入学定員を各45名増員し、博士後期課程情報学専攻の入学定員を10名増員予定である。現実社会のビッグデータを教材として、演習と実習に重きを置き、**ユーザー視点で人々の潜在的ニーズを明らかにして新たな価値を創造するデザイン思考を培い、実社会の課題解決提案型の学位論文などを行う実践的なカリキュラムを編成する**。そのため、本学の情報通信分野の教員のほか、世界最大の機械学習コンペティションプラットフォームであるKaggleにおいて**Kaggle Master**の実績を持つ**データサイエンスのエキスパートを企業等から招へい**する。また、**クロスアポイントを活用して連携企業から招へいした実務経験のある外部教員**が担当する機械学習やプログラミングに関する科目のほか、データ分析のスキルを向上させる合宿形式の**ブートキャンプ**、**Kaggle講義**を実施し、**新たな価値を創造する型破りなトップ人材の育成**を目指す。

2.基本情報

大学全体の収容定員数等の変化（予定）

		博士課程	修士課程	大学院計	学士課程
大学全体の情報系組織の収容定員	増員前	36	230	266	873
	増員後	66	310	376	1,038
	増分	30	80	110	165
大学の全組織の収容定員	増員前	177	1,010	1,187	
	増員後	207	1,090	1,297	
	増員前	20.3%	22.8%	22.4%	
情報系組織の収容定員の占める割合	増員後	31.9%	28.4%	29.0%	
	増分	11.5%	5.7%	6.6%	

※正規課程の人数

※令和5年5月1日時点

改組・増員前の組織情報

課程		組織名	入学定員	収容定員	改組時期・内容
博士	情報系	情報理工学研究科情報学専攻	12	36	R7増員、R8増員、R12増員
		計	12	36	
	情報系以外				
修士	情報系	情報理工学研究科情報学専攻	120	230	R6増員・R10増員
		計	120	230	
	情報系以外				
学士	情報系	情報理工学域Ⅰ類	234	873	R6増員
		計	234	873	
	情報系以外				
		計	0	0	

※情報系組織の改組・増員に関わる組織のみを記入。コース等で実施の場合はコース等単位で記入。

※学士の入学定員には編入学定員を含む。

改組・増員後の組織情報（予定）

課程		組織名	入学定員	収容定員	改組時期・内容	所在地
博士	情報系	情報理工学研究科情報学専攻	22	66	R7増員、R8増員、R12増員	東京都調布市
		計	22	66		
	情報系以外	改組前との差	10	30		
		計	0	0		
修士	情報系	情報理工学研究科情報学専攻	155	310	R6増員・R10増員	東京都調布市
		計	155	310		
	情報系以外	改組前との差	35	80		
		計	0	0		
学士	情報系	情報理工学域Ⅰ類	264	1038	R6増員	東京都調布市
		計	264	1038		
	情報系以外	改組前との差	30	165		
		計	0	0		

改組・増員後の情報系組織の学位分野（予定）

課程	組織名	学位分野（主なもの6つまで）				
博士	情報理工学研究科情報学専攻	工学関係				
修士	情報理工学研究科情報学専攻	工学関係				
学士	情報理工学域Ⅰ類	工学関係				

<基本情報>

改組内容：研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員

情報系組織名：＜学士＞情報理工学域Ⅰ類

＜修士＞情報理工学研究科情報学専攻

＜博士＞情報理工学研究科情報学専攻

情報系組織の入学定員：＜学士＞【R6増員】改組前234名 → 改組後264名

＜修士＞【R6増員、R10増員】改組前120名 → 改組後155名

＜博士＞【R7増員、R8増員、R12増員】改組前12名 → 改組後22名

所在地：東京都調布市

新たな価値を創造する型破りなトップ人材の育成 「デザイン思考・データサイエンスプログラム（D×2（デンツー）プログラム）」の設置

Innovation（新たな価値を創造する型破りなトップ人材）

◆IMDAQ®（イムダック）※の幅広い知識及び高い専門性に基づく実践力と世界で活躍する国際性を兼ね備え、現実社会でイノベーションを創出し、産業振興に資する高度情報専門人材を育成

※「情報（I）、数理（M）、データサイエンス（D）、人工知能（A）、量子（Q）」を表す略語で本学の登録商標

Communication（相互理解教育）

- ◆独自のカリキュラムを展開する**情報系分野の基礎・基盤を持つ大学**
- ◆「学域（学部）・修士6年一貫コース」＋「博士課程」で大学と社会の回転ドアを構築
- ◆「**デザイン思考**」と「**データサイエンス**」を融合した日本初のプログラム
- ◆**企業等の実データを活用**した演習・実習重視の実践型教育
 - ・データ分析スキルを向上させる**合宿形式「ブートキャンプ」**
 - ・**現役Kaggle（世界最大の機械学習競技会）Masterが「Kaggle講義」を担当。**在学中のMaster取得へ
 - ・企業等との協働による社会実装を目指すPBL「**キャップストーンプロジェクト**」
 - ・**海外大学等との連携**による海外研修、オンライン教育
- ◆**産官学コンソーシアムによる協力体制**
 - ・**大手IT企業等から実務家教員**の配置
 - ・企業の保有データを教育に提供

など

Diversity（多元的な多様性の確保）

- ◆情報に高い素養を持った人材を積極的に受け入れる入試改革（2025（令和7）年度から）
 - ・高い志願倍率による学生確保：前期4.1倍 後期10.9倍（令和5年度Ⅰ類）
 - ・個別別試験（前期）に科目「**情報Ⅰ**」を導入
 - ・Ⅰ類特別選抜に**CBT（Computer Based Testing）**を活用
- ◆**女子枠入試**による女子学生の確保

など

